

生化学検査項目 (1)

T P	血清総蛋白	<p>血清中の蛋白質の総量です。</p> <p>主にアルブミンとグロブリンなどの成分で構成されています。</p> <p>多くが肝臓で合成されるため、血中の値が高くても低くても肝機能に何らかの障害があることが疑われます。</p> <p>高値疾患：脱水症、多発性骨髄腫など</p>
A L B	アルブミン	<p>肝臓で合成される水溶性の蛋白質。</p> <p>栄養状態の悪化や肝障害の程度を反映して低下します。</p> <p>高値疾患：脱水状態</p> <p>低値疾患：ネフローゼ症候群、重症肝疾患、栄養失調、各種炎症等</p>
GOT (AST)	アスパラギン酸 アミノトランスフェラーゼ	<p>肝臓や心筋・骨格筋・赤血球などに多く含まれる酵素です。</p> <p>G P Tの値と比較しながら疾患を推測します。</p> <p>高値疾患：急性肝炎、慢性肝炎、肝硬変、脂肪肝、心筋梗塞など</p>
GPT (ALT)	アラニンアミ ノトランスフェラーゼ	<p>G O Tと同じく殆どの臓器組織細胞中に分布している酵素ですが、特に肝臓・腎臓細胞内に多く含まれています。</p> <p>G P TはG O Tに比べ肝疾患に特異性が高くなります。</p> <p>高値疾患：急性ウイルス性肝炎、慢性ウイルス性肝炎（とくに活動型） アルコール性肝炎、肝硬変、脂肪肝など</p>
γ-GTP	ガンマー・グルタミル ペプチド	<p>肝臓の解毒作用に関係する酵素で肝臓病のほか胆道に障害があると検査値が高くなります。</p> <p>飲酒の影響が大きく、他の肝機能検査値が基準内でγ-G T Pだけが高い場合はアルコールの飲みすぎが原因と考えられます。</p> <p>高値疾患：アルコール性肝障害、脂肪肝、薬剤性肝障害、肝硬変など</p>
L D H	乳酸脱水素酵素	<p>エネルギー代謝に関係する酵素で全身の細胞に存在します。</p> <p>そのためどの臓器が損傷しても活性値が上昇します。</p> <p>通常はスクリーニング検査として行われますが、高値の場合アイソザイムを測定する事によって損傷臓器を推定することが出来ます。</p> <p>高値疾患：溶血貧血、悪性貧血、白血病、心筋梗塞、感染症など</p>
A L P	アルカリフォスファターゼ	<p>肝臓・腎臓・骨・腸など体内の様々な臓器に含まれている酵素です。</p> <p>これらの臓器に障害があると血液中に流れ出ます。</p> <p>また、臓器によって異なる数種類のアイソザイムが存在するので、その測定によって由来臓器の推定をすることが出来ます。</p> <p>高値疾患：閉塞性黄疸、肝疾患、骨疾患、甲状腺機能亢進など</p>
T-CHO	総コレステ ロール	<p>食事による摂取・体内での生合成胆汁酸等として排出などのバランスによって保たれています。値の高い状態が続くと動脈硬化が促進され虚血性心疾患・脳疾患などを引き起こす要因となります。</p> <p>高値疾患：甲状腺機能低下症、糖尿病、肥満症など</p> <p>低値疾患：甲状腺機能亢進、βリポ蛋白欠損症など</p>

T G	中性脂肪	<p>エネルギー源として使用される脂質で、消費されなかった余分なものは、皮下脂肪や内臓脂肪として貯えられます。</p> <p>中性脂肪が血中に多いと動脈硬化が促進されるほか、急性膵炎や脂肪肝をおこすことがあります。</p> <p>高値疾患：糖尿病、動脈硬化症、急性膵炎、ネフローゼ症候群など</p> <p>低値疾患：Addison病、バセドウ氏病、重症肝実質障害など</p>
HDL-C	善玉コレステロール	<p>血液中の余分なコレステロールを運び出してくれるため（善玉コレステロール）と呼ばれています。血中のHDLコレステロール値が低いと総コレステロールなどが基準値内でも動脈硬化などが進行しやすくなります。</p> <p>高値疾患：家族性高HDL血症、薬物、アルコール多飲など</p> <p>低値疾患：Tangier病、高リポ蛋白血症など</p>
B U N	尿素窒素	<p>蛋白代謝の最終産物です。</p> <p>一部尿細管で再吸収されますが、殆どは尿中に排泄されます。</p> <p>腎機能が低下すると糸球体で濾過することができず血中の値が上昇します。</p> <p>高値疾患：腎不全、ネフローゼ症候群、尿路閉塞、脱水など</p>
C R E	クレアチニン	<p>筋肉内でクレアチニンから産生される最終産物です。</p> <p>BUNと同じく腎機能が低下すると尿中に排泄されず血中の値が上昇します。</p> <p>高値疾患：糸球体腎炎、腎不全、心不全、脱水など</p>
U A	尿酸	<p>細胞の核を構成するプリン体が分解されて出きる老廃物です。</p> <p>主として腎臓から排出されます。</p> <p>高値疾患：痛風、特発性高尿酸血症、尿路結石症、など</p>
G L U	血糖	<p>血液に含まれるブドウ糖の値を測定します。</p> <p>糖尿病の診断の為の基本的な検査ですが、食事による変動が大きいため特に指示が無い限りは、空腹時に測定します。</p> <p>高値疾患：糖尿病、甲状腺機能亢進、原発性アルドステロン症など</p>